



TITLE:

観測帳

AUTHOR(S):

中村, 要

CITATION:

中村, 要. 観測帳. 天界 1932, 12(130): 67-67

ISSUE DATE:

1932-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161754>

RIGHT:



観 測 帳



花山天文臺 中 村 要

筆者は昨年末12月28日より1月5日まで西
江州の片田舎の郷里で御正月を送りまし
た。年始状を頂きました會員諸氏に御禮申
します。

1931 b 長田彗星 12月中は観測不能。曉
天朝に廻るのを待つて居る。

1931 c Ryves彗星 少々不精をして12月
17日朝に始めて観測した。推算によつて探
し多分これだと思つて寫眞を撮影する。流
石に F 3鏡だけでは美事に現れた。甚だ漠
然たるもので眼視的には観測不能。其のあ
と22日朝まで眼覺しをかけて毎朝起きたが
いつも駄目。夕方晴れて午前になると曇
る。張合のない事おびたい。24日が満
月で1月中頃まで観測出来ない。

R. I. 500號に達す 小遊星の中央局で
あるベルリン天文計算局で發行する回報略
して R. I. と稱されて居るものは去る11月
14日に第500號を發行した。此の回報は各地
の天文臺から集つてくる観測報告及び推算
を観測者への至急報として發行するもので
花山に着くに最も早くて約15日である。發
行部数は約30で不定期のものである。現在
定期に報告する天文臺はハイデルベルヒ、
ユツクル、シメイス、花山、アルジェー、バ
ルセロナ、ユニオン等で、ヤーキス、トリノ、
マドリッド、ブカレスト、余山、ウイスバ
ーデン等は時々報告して居る。

運動の速い新小遊星 11月8日ハイデル
ベルヒ天文臺のラインムートは赤經 1時24
分、赤緯 25° 44' の點に 14.3等の日々運動
-1.5分、+4' なる運動の速い小遊星を発見
した。1931年 VP と假に命名された。

新小遊星1931 RL 去る9月14日 ハイデル
ベルヒ天文臺で Reinmuth が發見した13.7
等の新小遊星 1931 RL は軌道計算の結果
1924 TQ と同一の小遊星である事が知れ
た。平均運動は 458秒で木星の三分の二に
當るヒルダ群に屬する事が知れた。

西天の一小遊星の観測 去る11月29日に
山羊αを中心に撮影した原板を翌朝調べて
居るとふと

20時 14.3分 16° 41'

の點に長い線が見つかった。多分小遊星と
思つて衝の推算表をくると。(4) Vesta と
の関係位置から去る7月3日に衝になった。

(11) Parthenope らしく思はれた。30日夜
には約半度東によつた所で容易に30センチ
で測微観測が出来た。光度は 10.5-10.8等
位であつた。偶然にも迷ひ込んだ星だが衝
を過ぎて約5箇月もたつたのに、よくも見つ
かつたものだ。12月10日まで6夜観測した。

(10) Hygiea は2月9日9時24分北11°50分
の點で衝になる。光度は9.5等

光學研磨室より 去る10月に完成した大
研磨機は12月6日に初仕事をした。研磨機は
自分の中型研磨機を多少改良したもので僅
に口径75センチの大反射鏡が磨ける。無音
に近い滑かな運轉。其のでつかさには來た
人は一寸びっくりするらしい。其のうちに
内容を報告致します。

12月末に太陽部で製作計畫中のスペクト
ロヘリオスコープに使ふ口径10センチ、焦
點距離約4米といふ馬鹿に長い凹面鏡2個を
作つた。仕上つた焦點距離は393及び395セ
ンチであつた。

近況 小生の身長は公稱 6尺で通用させ
て居たが。最近測つたのでは 5尺9寸6分で
少々切れる。體重は 19.5貫で太つた方では
ないが大男には相違ない。丈の高いのはそ
もそも一分でも天に近いので星を見るには
都合がよろしい。